「答え」や「結論(けつろん)」が分からなくても、
その時点(じてん)での「いったんの答え」をつくりだすことを

仮説(かせつ)をもつ

といいます。

仮説をもつことは、

答えや結論により近づくこと

につながります。

ゴールや目標がまったく見えないと何もできません。
それよりも、いったんゴールや目標をきめて、そこに向かってみます。
(もしそのゴールや目標がちがったら、あたらしく仮説を持ち直せばいいのです。)

一番だめなのは、「わからない」「知らない」「習っていない」と言って、
なにもしないことです。